

事業名 : 山陰海岸ジオパーク七坂八峠ウオーク

団体名 : 加藤文太郎山の会

1 事業内容

日時 令和5年10月29日

場所 浜坂 → 岩美 → 浜坂

内容 JRを利用して浜坂駅から岩美駅 岩美駅から歩いて浜坂

【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
8/10	実行委員会参加依頼	新温泉町、新温泉町観光協会、新温泉町	2人
8/18	第1回実行委員会	浜坂多目的集会施設会議室	12人
8/26	20K ウオーク下見	鳥取県	5人
9/5	第2回実行委員会	浜坂多目的集会施設会議室	12人
9/13	道路使用願い申請	兵庫県、鳥取県	2人
10/9	実行委員会事前打ち合わせ	松籟庵	5人
10/10	第3回実行委員会	浜坂多目的集会施設会議室	12人
10/14	20K ウオーク下見	鳥取県	4人
10/28	事前準備	加藤文太郎記念図書館	8人
10/29	20K ウオーク実行		76人
12/7	反省会	浜坂多目的集会施設会議室	8人

2 事業の効果

(1) 団体（組織）内の効果

一般役員や会員が知らない、山陰海岸ジオパーク内の七浦富海岸、羽尾岬、坂八峠を歩き、地域の穴場発見、歴史に触れてもらうことが出来た。また、清掃活動等を通じて、会員間の連携が深まった。

(2) 地域への波及

鳥取県の海岸を歩き、古道の整備、枝払い、樹木テープの取り付けなど、このルートを初めて歩く人でも、安心して通れるようにした。(大会で樹木に取り付けた矢印や番号は、自然環境を守るため、終了後撤去)

申込者は56名と少なかったが、町外からの参加者が33名と多く、地元の民宿等に泊まり、コロナ禍で減った地元への集客や経済にも貢献出来た。

赤字路線のJR山陰線の利用、入込客の減った温泉施設「ユートピア浜坂」の利用者増に、微力ながら貢献出来た

3 協働の相手方

浜坂観光協会と新温泉町をPRするための検討会を開催し、浜坂漁業と浜坂の名産であるエビをPRするためエビの寄付を依頼した。また、エイドでのエビの調理について浜坂いずみ会に調理を依頼した。

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

会員が高齢化しており、清掃やルート整備に手のかかる場所を避ける必要がある。
他のイベント（浦富ウォークなど）に参加して、そのノウハウを参考にする必要がある。
インターネットを通じて他地区からの参加者を増やす必要がある。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

完全ボランティア活動での継続は困難なので、最低限の消耗品等の援助を期待する。
ポスター・チラシを最小限にして、ネットを通じた全国的な募集が必要である。近隣の観光協会等、ポイントを押さえた広報活動と、町、観光協会との連携を図る。



5年10月29日 出発式



5年10月29日 JR浜坂駅から岩美駅着



5年10月29日 羽尾岬縦走中



5年10月29日 七坂八峠縦走中